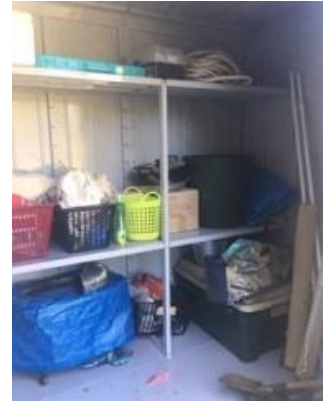


プレーパークに倉庫が出来た！！

千葉市稲毛区にある「いなげプレーパーク」は、子どもたちの集まる公園の一角、森のように木々が生き茂り木漏れ日が注ぐ中、月に一度、活動しています。

発足して3年目。

1年目は他のプレーパークから道具を借りてきて活動をし、
2年目は主催者2名の自宅にあるものを持ってきて使い、
3年目の今年は、助成金で購入した倉庫に、登り旗・ロープ・ブルーシート・焚き火台などの道具を常時置けるようになりました。



<みんなで作るプレーパークへと…>

倉庫が出来たおかげで、毎月参加している常連さんや早く来た人に手伝ってもらったり、いろいろな人と関わり合いながらプレーパークを運営することができるようになりました。

物の置き場所がみんなにもわかるようになったので、自主的にどんどん準備をしてくれます。

主催者中心の活動から、みんなで作る活動へと変わってきているようです。

また、主催者が病気などで都合がつかない時にも活動を休むことなく継続でき、焚き火での焼き物以外にも、みんなで草木染めをしたりとイベントの幅も増えています。

<プレーパークは多世代交流の場>

活動は日中なので小さな子ども達が多いようですが、小学生が公園にいる時間には声をかけて一緒に遊ぶこともあります。いきいきした表情で遊ぶ子どもたちに大人もホクホクの笑顔になりますね。

子どもたちだけではなく、犬と一緒に人や1人でお散歩をしている人にも声をかけています。

<街の居場所へと…>

積極的に地域と繋がりたい、開催日をもっと増やして行って街の居場所になりたいという想いで活動しています。もっと地域の方々にプレーパークの存在を知ってもらい、色々な年代の方が参加できるように、フリマやマルシェの開催も考えているそうです。



千葉ブロック 運営委員 二階堂 真紀